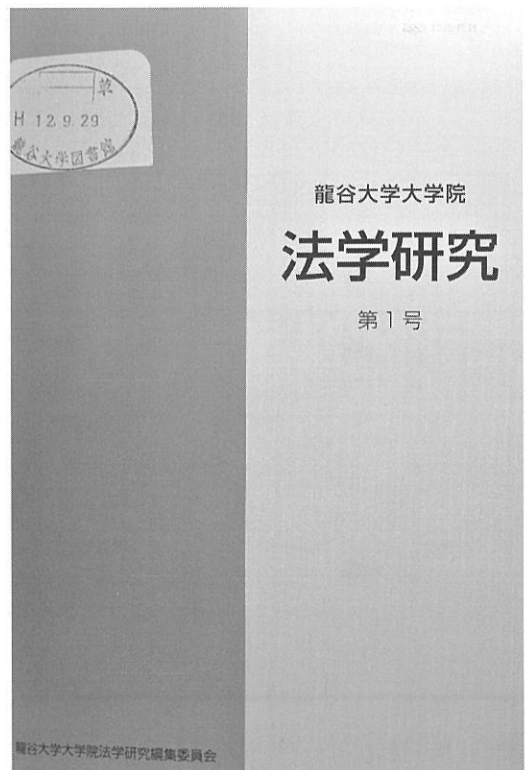




学園紛争のために1972(昭和47)年3月の卒業式は中止された(法学部では当時、卒業証書授与伝達式のみが学部独自に開催された)。1999(平成11年)6月、27年ぶりの卒業式が顕真館で大学全体の行事として開催され、卒業式を挙げられなかった、法学部第1期生を含む約500名の卒業生が出席した。この「27年ぶりの卒業式」は、新聞などのメディアでも広く報じられた

写真：龍谷大学編『龍谷大学 三七〇年の歩み』2009(平成21)年

1999(平成11)年に創刊された、龍谷大学大学院法学研究編集委員会発行の紀要『龍谷大学大学院法学研究』創刊号表紙。創刊号の「はしがき」のなかで、法学研究科の川端正久研究科長は、『法学研究』の刊行により、法学部および法学研究科は教員を主体とする『龍谷法学』、院生を主体とする『法学研究』そして学生を主体とする『法学論集(学生論文集)』の3誌をもつことになったと記している



2000(平成12)年、大型映像装置が中庭に設置される

写真：龍谷大学編『龍谷大学 三七〇年の歩み』2009(平成21)年

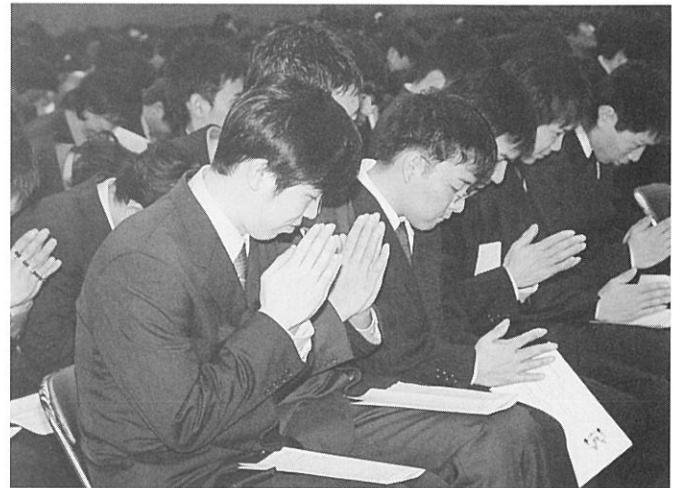


2000年代初頭のフレッシュャーズキャンプ 写真提供：龍谷大学学友会イヤーブック作成委員会



2001(平成13)年11月、法学部同窓会設立30周年記念講演会が京都市内のホテルで開催された。講師は土井たか子法学部客員教授

写真：広報誌『龍谷』



2000年代初頭の卒業式 写真提供：龍谷大学学友会イヤーブック作成委員会



2000年代初頭の石田徹ゼミナール

写真提供：龍谷大学学友会イヤーブック作成委員会

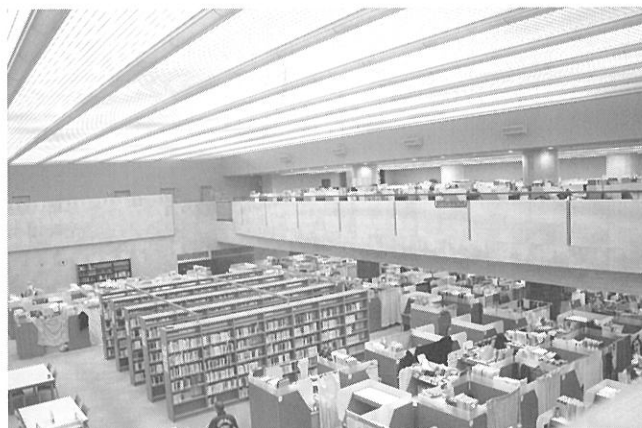


2001(平成13)年4月、紫光館(旧京都みやこ信用金庫本店)の使用が始まった

写真: 龍谷大学編『龍谷大学 三七〇年の歩み』2009(平成21)年



2005(平成17)年4月、「市民のために働く法律家」の養成を目指して法科大学院が開設された。写真は法科大学院開設記念シンポジウム「法科大学院教育と目指すべき法曹像」



法科大学院共同自習室(紫光館図書館分室)



深草学舎修景事業の一環として2006(平成18)年に完成した中央ステージ



2007(平成19)年6月、法学部創設40周年記念事業の一環として、作家の大江健三郎氏を招いて記念講演会が開催された。テーマは「私らは いまにとけ込んでいる未来を生きている」。左は、学長室で若原道昭学長や高橋進法学部長らと談笑する大江健三郎氏。右は講演会の様子



2007(平成19)年11月に開催された法学部創設40周年記念シンポジウム「21世紀のアジアと日本：外交と憲法をめぐって」

40th
創設40周年記念事業

【どのような21世紀をわれわれは創るのか】

21世紀のアジアと日本

— 外交と憲法をめぐって —

日時 2007年11月17日(土) 13:30-17:30 (開場 13:00)

会場 龍谷大学 深草学舎
3号館301教室

参加無料
申込不要

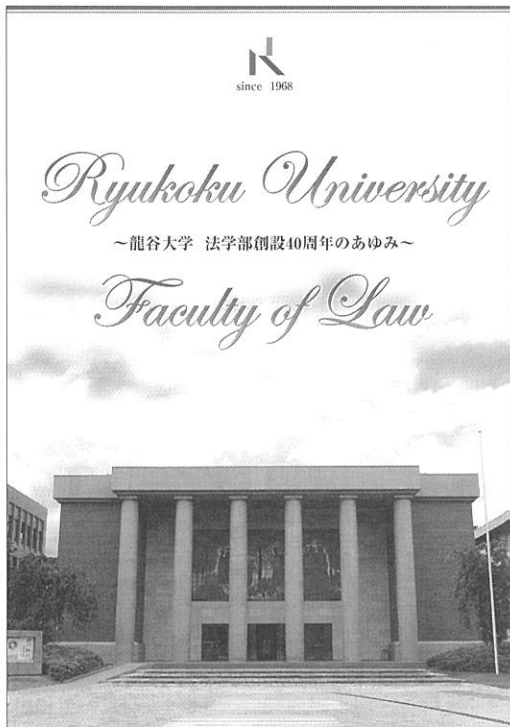
講師陣 東亜国際法科大学院 酒井 啓子 教授「イラクの今後と日本の役割」
龍谷大学法学部 西教 一彦 教授「アジアの動向と日本の外交」
龍谷大学大学院 渡辺 由樹 教授「日本社会の変容とゆくえ」
龍谷大学法科大学院 山内 敏弘 教授「日本憲法の国際的意義」

パネルディスカッション
コーディネーター 酒井啓子教授、渡辺由樹教授、西教一彦教授、山内敏弘教授
モデレーター 龍谷大学法学部 川端正人教授

お問い合わせ先 龍谷大学法学部教務課内、法学部創設40周年記念事業事務局
〒612-8577 京都府八幡市深草本町42 電話 075-642-3966

主催 龍谷大学法学部、龍谷大学法科大学院 協賛 龍谷大学法学部同窓会、龍谷大学校友会、龍谷大学親和会、龍谷大学法学会

龍谷大学



2007(平成19)年11月に開催された法学部創設40周年記念キャリア啓発事業シンポジウム「ベアテの贈りもの：OGの活躍と龍大生の将来像」

法学部創設40周年を記念して出版された『龍谷大学法学部創設40周年の歩み』(2008(平成20)年)の表紙